



クラウド活用入門編

お客様がお持ちの画像データを活用しませんか？

「不適切なコンテンツを抽出したい」「入退室管理に顔認証はできないか」
お客様が画像データや動画データをお持ちであれば、お手持ちのデータを活用して解決しませんか？
画像と動画から情報とインサイトを抽出します。機械学習のスキルは必要ありません。

お客様の課題やユースケース

Case 画像データを使った顔認証

課題

画像データを使った顔認証を行いたいが、
画像認識の環境や経験が無い

解決策

Amazon Rekognition を使うことで、画像データを
簡単に分析して顔認証に利用することが可能

特徴【お客様にとってのメリット】

- ① インフラや機械学習モデルなどを準備する必要がない
- ② API 呼び出しで既存アプリケーションから簡単に利用可能
- ③ 低コストで実現

お客様事例

「クラウドや機械学習の専門家がない中でゼロから顔認証入退室管理プラットフォームを構築」

東海理研株式会社

精密板金加工による製品とともに、IC キー・カード・生体認証などによる物理セキュリティ商品を展開する東海理研株式会社。
顔画像を照合する入退室システムを提供し、クライアントごとにオンプレミス環境を導入／運用

お客様状況・課題

- 将来を見据えた拡張が難しいオンプレミス環境
- 現場でのハードウェア／ソフトウェアの保守管理負荷
- IT活用による新しいビジネスモデルを模索

AWSを選じた理由

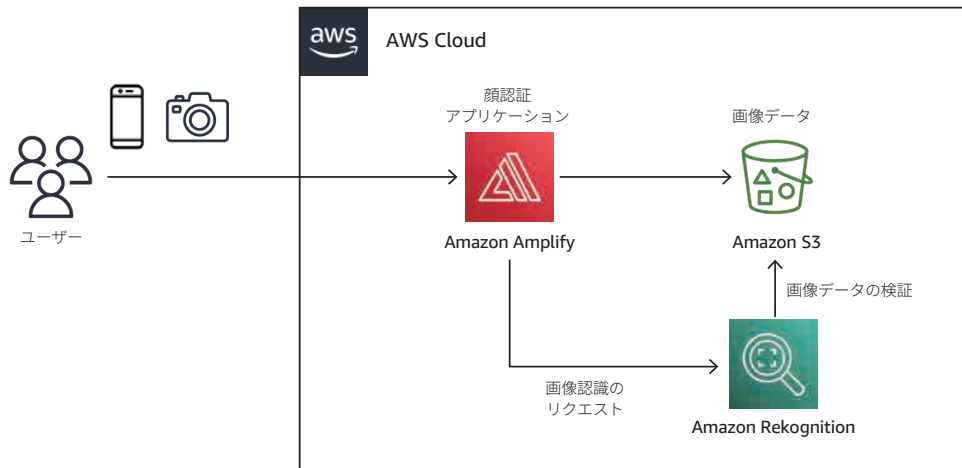
- 画像認証の仕組みを低コストで利用可能
- 豊富な学習リソースと手厚いサポート
- インフラ拡張の柔軟性

効果

- ハードウェアやソフトウェアの保守管理負担の軽減
- 耐障害性の向上および設備の柔軟な拡張性の確保
- 複合的な宿泊・商業施設へのサービス提供
- 顔認証だけでなく、モノの認証や身元確認を連携
- データ分析など、新たなサービスの提供

AWSクラウド活用例

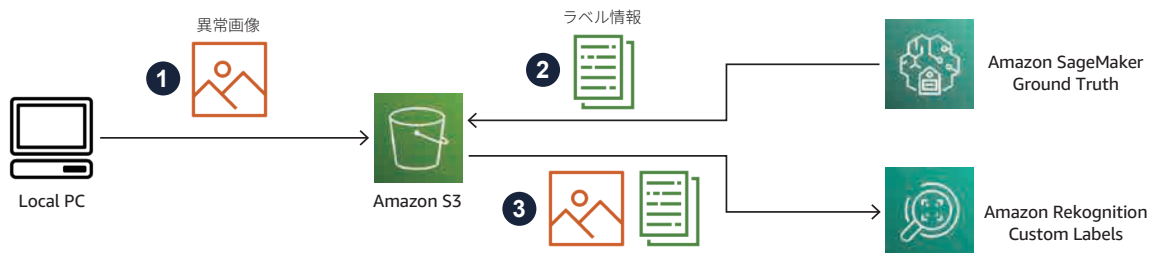
Amazon Rekognition を使うことで、画像データを API コールだけで分析できます。ユーザー登録時に本人の画像データを登録しておき、顔認証時には API 経由で画像データを送信することで、事前登録済みの人物と合致する可能性を検証できます。



他のお勧めサービス

Amazon Rekognition Custom Labels / Amazon SageMaker Ground Truth

Amazon Rekognition の Custom Labels 機能と Amazon SageMaker Ground Truth 機能を組み合わせて使うことで、AI による画像認識を使った独自の外観検査ソリューションを作り込むこともできます。自らが用意した画像にラベル情報を付加してそれを Rekognition に学習させることで、独自の機械学習モデルを作成し、製品などの不良をカメラ画像で自動識別するといった、いわゆる外観検査を実現することが可能です。ぜひ、AI や機械学習を使った業務改善にチャレンジしてみてください。



学習リソース

「AWS Hands-on for Beginners AWS Managed AI / ML サービス はじめの一歩」

AWS には機械学習の深い知識がなくとも AI/ML を組み込める Managed な AI/ML サービス群があります。このハンズオンでは、5つの AI/ML サービスを利用する方法について学んでいただけます。

AWSクラウドの無料相談を受け付けています。

資料請求、お見積りのご相談、またお客様のユースケースにおける構築、AWS パートナー紹介に関するご相談は、お気軽に <https://go.aws/3xlbZhN> よりお問い合わせください。平日営業時間内に担当者よりご連絡いたします。チャットでもご相談いただけます。(平日 10:00~17:00 / 土日祝日除く)



アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア
<https://aws.amazon.com/jp/>

Copyright © 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。2023年3月現在の情報です。記載内容については変更の可能性があります。